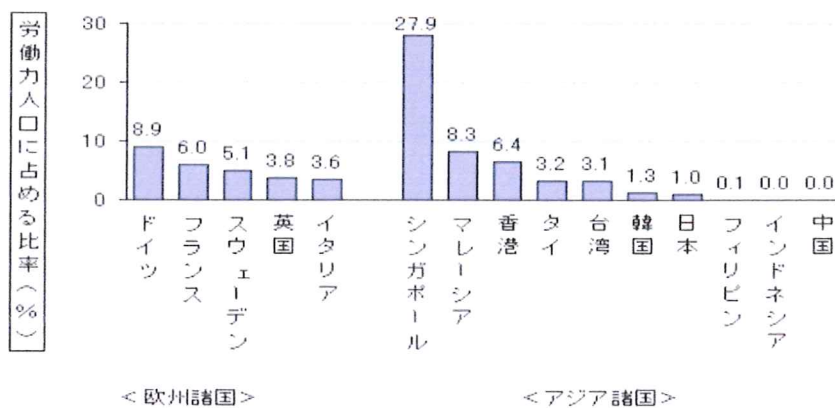


日本の人口減を補うのに必要な 外国人労働者数は？

- 日本の生産年齢人口(15歳から64歳までの人口)は、2015年の7,681万8,000人から、2060年には4,418万3,000人にまで減ると予想されている。**45年間で3,263万5,000人(42.5%)の減少となる。**
- 減少する日本の生産年齢人口をそのまま外国人労働者で補填しようとする、3,263万5,000人の移民が必要になる。
- この間、高齢者数は増加するため、高齢者人口と生産年齢人口の比率を2015年と同じに保つとすると、**GDPを維持するために必要な移民の数は3,419万6000人となる。**
- 2060年に予想される日本の人口は8,673万7,000人であることから、**日本の人口の40%に相当する外国人を移民として受け入れなければならないことになる。**

労働人口に占める外国人労働者の割合

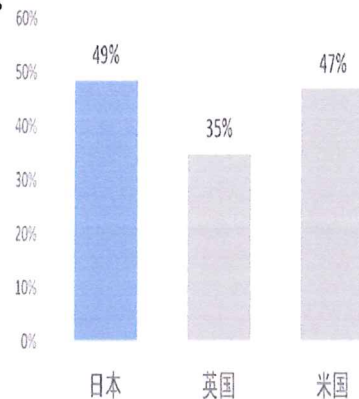


(注) 労働人口に占める比率の計算は社会実情データ図録で行った。
外国人労働人口の定義は国により異なる。日本は不法就労を含む71万人を使用。
(資料) 労働政策研究・研修機構「データブック国際労働比較2005」

日本の仕事の49%がAIやロボットで代替可能

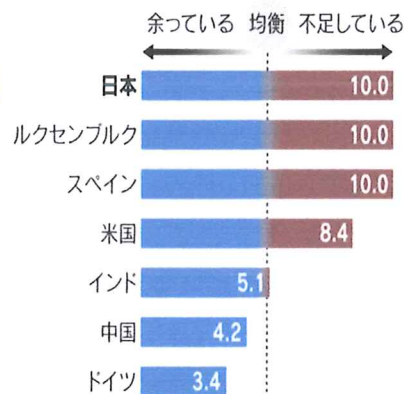
- 2015年に野村総研が、英オックスフォード大学と共同で、国内601種類の職業について、人工知能やロボットで代替される確率を試算した結果、10～20年後に、日本の労働人口の49%が就業する仕事がAIやロボットで代替可能との推計結果が得られた。

- 芸術、歴史学・考古学、哲学など抽象概念を整理・創出する能力が要求される職業、他者との協調や、他者の理解、説得、交渉などサービス志向性が求められる職業は、AIやロボットによる代替が難しい。
- 一方、特別の知識やスキルが求められない職業、データ分析や秩序的・体系的な操作が中心となる職業はAIやロボットによる代替可能性が高いことが確認された。



高スキル人材不足度日本が最悪

- 2018年11月6日、人材サービス大手の英ヘイズが発表した「人材の需要と供給動向に関する2018年版調査結果」によると、高度のスキルを有する人材の充足度で、日本は主要33カ国・地域中、最下位となった。
- 特に不足しているのは、人工知能(AI)技術者やデータ分析官などITの高スキル人材。
- スキルを上げて高い賃金で転職するのが一般的な他国と異なり、終身雇用の根付く日本ではスキルアップへの意欲が低い。
- アジアの転職希望者3544人を対象に17年に行った調査では、仕事以外でスキルアップに月6時間以上を費やすと答えた割合が、中国の54%に対し日本はわずか19%だった。
- 求職者はいるが企業のニーズに合っていない。高等教育が実務でなく教養に偏っていることも影響。



(出所) 英ヘイズ。10.0が最も不足感が高く、5.0が人材数と求人数の均衡の取れた状態を指す

労働人口の減少を外国人労働者
で補うのは
「仕事が忙しいから残業する」
のと同じ安易な発想
今日本にとって真に必要なのは
生産性の向上

15

先進国労働者1人当たり生産性ランキング(2015年)
労働者1人当たり GDP(単位:米ドル)

1. ノルウェー	137,327	10. デンマーク	98,511
2. 米国	125,450	11. オーストリア	97,541
3. スイス	109,786	12. ドイツ	96,930
4. ベルギー	108,501	13. フィンランド	95,284
5. フランス	103,621	14. スペイン	94,885
6. オーストラリア	102,841	15. カナダ	92,400
7. スウェーデン	102,240	16. イギリス	90,198
8. オランダ	101,803	17. 日本	87,006
9. イタリア	98,925	18. ギリシャ	83,827

1990～2014年国別生産性向上率比較

国名	生産性向上率 (%)	順位			
中国	11.45	2	デンマーク	3.76	89
インド	6.91	9	英国	3.54	94
韓国	5.90	17	米国	3.49	97
マレーシア	5.71	21	ベルギー	3.49	98
シンガポール	5.64	23	スウェーデン	3.45	103
アイルランド	5.59	24	スイス	3.39	107
ノルウェー	5.48	28	ギリシャ	2.99	115
香港	4.91	41	イタリア	2.80	123
ルクセンブルク	4.78	45	日本	2.72	126
ロシア	4.49	56	世界	4.34	
オーストラリア	4.14	67	先進国	3.65	
オランダ	4.01	72	<small>世界銀行の1人あたりGDP (購買力平価) データより筆者作成</small>		
スペイン	3.82	82	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; background-color: yellow;"> 日本の生産性向上率は主要国 中最低で、世界平均の半分 </div>		
オーストリア	3.80	85			
ドイツ	3.78	86			

生産性の向上の第一歩は
賃上げ

各国の最低賃金

国名	最低賃金 (購買力平価、米ドル)		
		オマーン	8.34
サンマリノ	13.68	カナダ	8.18
オーストラリア	11.60	サウジアラビア	7.62
ルクセンブルク	11.55	韓国	7.36
フランス	11.03	スロベニア	6.92
ドイツ	10.56	マルタ	6.59
ベルギー	10.15	日本	6.50
オランダ	9.78	スペイン	6.30
ニュージーランド	9.76	イスラエル	6.09
英国	9.38	ホーランド	5.99
台湾	8.75	ギリシャ	5.64
米国	8.50	香港	5.41

一人当たり平均労働時間

